



今回は1、2年対象に行った第1回 SGH 講演会についての報告です。

◇第1回 SGH 講演会 平成30年6月19日(火) 6、7限

Small Brewery with a Big dream to make the No.1 Sake ブレイズ・ダリル・コディ氏

今回は飛騨古川の渡辺酒造店の蔵人ブレイズ・ダリル・コディ氏をお招きして、講演をしていただきました。

コディさんが酒造りに出会うまでの半生から始まり、酒造りをしている中で大切にしていることや苦勞についてお話しいただきました。その後、渡辺酒造でコディさんとともに海外戦略を担っている木元茜さんから海外戦略の現状と今後の計画について教えていただきました。

講演後には2年生の生徒がコディさんと木元さんを囲み、座談会を行いました。質疑応答の間には多くの生徒が手を上げ、全員英語で質問をしました。コディさんも英語で回答してくださいました。



生徒の感想

*I came to be interested in SAKE which is loved around the world. I'm glad that you like Japanese SAKE. I think we have to strive to teach Japanese cultures more to many people. I think I can't live or work abroad because I may be very nervous. So I think you are wonderful! I want to go to your SAKE factory someday.

*自分の夢をかなえるために努力を惜しまず、最後までやり遂げる姿勢が尊敬できると思いました。私も自分の夢を叶えるために努力を惜しまず、どれだけ難しく時間のかかることでも最後まであきらめることなくやり遂げたいです。

- *自分が興味を持ったことや魅了されたことをほかの人に広めたいと思う人は多いですが、それを「実行しよう」「それに関わった仕事に就こう」と思う人はそれよりも少ないと思います。コディさんの場合、日本酒を広めたり、大統領に飲んでもらいたいという「もう一つ上の夢」に向かって活動していることに驚きました。「Don't give up」「Believe yourself」という言葉を心に留めて私もこれからの生活に臨んでいきたいと思いました。
- *外国の方が日本で職人になるということは勇気がいるしとても大変なことだと思います。コディさんはそんな大変な中でも周りの方コミュニケーションをとりながら真面目に一生懸命働いていらっしゃるのがかっこいいと思いました。職人になるには努力や経験が必要だと思います。私もコディさんのように誠実に働き努力できる人でありたいです。仕事についたら終わりではなくて新しい夢や目標をもって叶えていきたいです。コディさんのように自分の仕事を誇れるといいです。
- *プロになるくらい頑張っていたフットボールができなくなっても前を見てスポーツ医学の道へ進めるのが強いと思いました。また夢をもって日本酒造りをし、国を越えて活躍していることがすごいと思いました。海外のお客様に直接会ったり、議員から総理へ、大統領へ酒を届けようとしたりする行動力をSGHの活動の参考にしたいと思います。
- *はじめは「酒造り」と「外国人」の2語が結び付けられなかったけど、実際に話を聞いてみて、好きなものへの情熱に国の差なんてないのだと感じました。私も彼を見習って、口だけでなく行動や姿であらわしていきたいと思いました。
- *結婚を機に飛驒に来たコディさんの決断はとても勇気あるものだと思います。いろいろな困難にぶつかる中でやめたいと思ってもあきらめずに乗り越えていく姿は自分の何か嫌なことがあっても頑張ろうと思わせてくれました。また、自分の酒を造って広めるという夢を実現しようとしていることから、コディさんが言っていた「あきらめないこと」「自分を信じること」「最後までやりきること」は大切だと思います。



◇ アグリビジネスのグローバル展開、地域経済の持続的発展を考える

特産米（ヒダホマレ）を使った地酒を世界に発信。伝統を守りつつも、グローバル化に対応したビジネス構想。今回、飛驒の酒蔵の取り組みからたくさんのことを学びました。1・2年生ともに、SGH 課題研究に活かしていきます。



SDGsのロゴより